

大阪最古の民家・渡辺邸が解体された

写真は 1984 年に刊行された『明日をひらくまち淀川区』に掲載されていた渡辺邸。淀川区の貴重な文化財の一つとして紹介されていた渡辺邸が、レポートしてきたように 2012 年に解体されて、残念ながら、今は見るできない。

行きつけの歴史好きな理髪店の主人によると当時、渡辺邸解体は地域でも話題になったそうだ。解体映像があると聞き、ウェブサイトで探すと、「DAILYMOTION」というのが見つかった。映像のいくつかの写真とともに、サイトに掲載されていた中尾尚「報告」を紹介しておきたい。



渡辺綱の子孫と伝える渡辺久良左衛門忠綱（天正十年 1582、行年不明）が構えた屋敷跡と伝え、もしそうなら大阪落城より以前からあった市中最古の民家の一つとなる。綱はいうまでもなく源頼光四天皇の一人で、鬼同丸や羅生門の鬼を退治した豪傑である。

建物は母屋と長屋門、土蔵等で、宏大美しい庭があり、無論何回か修理したであろうが、母屋の大黒柱に直径一メートル、長さ七メートルという古松の梁や簀の子造りの天井は創建当時のまま。

伊能忠敬も宿泊した渡辺邸。

世界文化遺産に成ったかも知れないのに、この歴史ある建物を、単なる古い民家だと切り捨てて解体した大阪府知事の松井一郎。

歴史を、ただの古臭いものだと言うのなら、文化財など存在しなくなります。

効率化ばかり求める大阪に日本人の心は育ちません！

渡辺邸が解体されて更地にされた跡地には建売住宅が多数建築されました。

土建業者と癒着した維新の党・橋下徹と松井一郎が大阪府市の行政を牛耳っている限り、歴史的建築物は無くなって行きます。

それを選んだのは大阪の有権者たちなんですけどね。

(2018年5月12日)